

自衛隊警備犬ってなに？



自衛隊の警備犬とは**基地等の警備を担当する犬**のことです。近年は警備だけにとどまらず、大規模な災害地に赴き、**捜索などの人命救助活動**でも活躍しています。



主な任務

基地内を巡回警備し、異常がないか確認します。

基地警備



不審者確保

ハンドラーの命令で警備犬は不審者の腕に噛みつき、振り回されても離しません。

爆発物には種類があり、臭気が違いますが、訓練を積んだ警備犬は、**20種類以上**の爆発物を嗅ぎ分けることができます。

爆発物探知



人命救助活動

令和6年能登半島地震に係る災害派遣の際に捜索活動を実施しました。

警備犬と一緒にいるハンドラーって？



ハンドラーは、担当する警備犬と寝食を共にし、**信頼関係を築き、その警備犬と共に警備や人命救助等の任務に就くお仕事**です。ハンドラーは主に**自衛官**が務めており、警備犬にとって任務遂行のパートナーであり、かけがえのない存在です。

自衛隊でハンドラーをめざすには？

警備犬は現時点において海上自衛隊と航空自衛隊におり、例えば航空自衛隊では、ハンドラーは**警備特技員**として勤務しています。航空自衛隊の警備特技員は、基地や施設の警備を担っており、部隊配属後に「警備犬を扱いたい」という希望を伝えることで、ハンドラーをめざすことができます。

